

平成20年6月9日  
住友ベークライト株式会社

## 工業用フェノール樹脂の価格改定について

住友ベークライト株式会社（本社：東京都品川区、社長：小川富太郎）は、国内のフェノールモノマー価格が、2005年4月以降毎月のベンゼン価格に連動した値決めになったことを受けて、3ヶ月毎に製品価格の適正化をお客様にお願いしてまいりました。

昨今の異常な原油価格高騰に伴い、ベンゼン価格も大幅な上昇を示しております。6月アジア契約価格の1,310ドル/トン、年初来325ドル/トンの大幅な値上げとなっております。

またフェノールに限らず、副原料の石化製品も軒並みに高騰しております。また天産品についても資源国での燃料への転化利用や輸出規制など価格上昇は枚挙に暇がありません。このような状況下で、フェノールメーカーは減産により輸出事況を引き締めるなど様々な値上げを実施しています。また原油価格上昇に併せ、諸費用転嫁を進めるなど強硬な手段を講じてきております。弊社は、従来にもまして生産コストダウンを図ることで増加費用の内部吸収を進めてまいりましたが、フェノールモノマーなど主原料以外の副原料価格上昇も大きく、自社のコスト負担の限界を超えるに至っております。

ここ数年に渡る原料価格の高騰が続く中、弊社の事業採算は大幅に悪化し、到底受け入れられる環境ではありません。しかし、お客様への安定供給を果たすことが弊社の使命であると考え、原料価格値上げを吞まざるを得ないと判断し、弊社フェノールレジジン製品価格の改定を以下のように申し入れることといたしました。

### 記

- 1) 価格改定 フェノール樹脂製品価格を改定する
- |      |            |
|------|------------|
| 固形製品 | @ 65円 / kg |
| 液状製品 | @ 48円 / kg |

- 2) 実施時期 2008年7月1日出荷日より

以上

【本件に関するお問合せ先】

総務法務部広報担当 Tel 03(5462)3433